



「琵琶湖横断・竹生島・長浜を歩く」活動報告（担当4班）

- ◆ 実施日：2020年11月13日(金) 天候：快晴
- ◆ 集合場所/時間：琵琶湖汽船今津港乗船場 10:20
- ◆ 参加人数：82名
- ◆ コース 今津港～竹生島～長浜港・長浜城・大通寺・曳山博物館

1、今津港～竹生島 田積リーダー挨拶後3班編成で乗船、心配していた天候も快晴にほっとする。一部参加者が遅参した為5分遅れで貸切船で出発

2、竹生島/宝厳寺 三蜜を避けて田積班、大村班が左回り、山添班は右回りで信仰の島を散策。左コースでは、直登の急な石段が続き宝厳寺本堂で汗ばむ様子。竜神拝所では「カラ投げ」に興じる姿も。いつもなら白衣姿の巡拝者も無くここにも新型コロナ禍を感じた。

3、竹生島～長浜 乗船前に8班編成へ抽選、船内で昼食



4、長浜城・長浜歴史資料館

長浜ボランタリー8名の出迎えを受け、石段を舞台に集合写真。4班スタッフが持つ1～8班団扇に整列。流石に37年間の継続と年間5万人以上の案内実績を誇る「長浜観光ボランティア協会」段取り良く、戦国の歴史、主要人物の相関図、地域経済や信仰等、深い知識をよどみないはっきりとした口調に感動した。

説明によると浅井氏を滅ぼした秀吉への反発感を住民達へ自治・寄合制度等の改変で城下町経営に成功した事が「豊国神社」に祀られるほどに今の世に継がっている。



5、大通寺 湖北3郡の信仰歴史が集約された栄枯盛衰を感じたお寺。「浄土真宗」蓮如～教如、「戦国武将」浅井～信長～秀吉～三成～家康～井伊家との関わりが襖絵やお庭の鐘など至る所に歴史遺産の宝庫でした。少々残念だったのが襖絵など大量の文化遺産の破れなどの劣化が目につきました。



6、曳山資料館

ユネスコ無形文化遺産の「長浜曳山祭」13基の曳山では「子ども歌舞伎」が披露されます。日程は毎年4/13～16の4日間

解散 曳山資料館前にて16時解散。
「焼鯖そうめん」などグルメ探求活動が始まりました。

観察記録 竹生島は琵琶湖の中での孤島であるので、さぞや珍しい島の固有種があるかと期待したのですがあにはからんや、まったく同じ、シダであればヤブソテツ、タチシノブ、イノデ、等、草ではオシロイバナ、ヘクソカズラ、等々見慣れたものばかりでした・だが、400年のモチの木の枝ぶりは凄い見ごたえがありました。岡田先生談

…… 所 感 ……

コロナ禍・第3波がひたひたと近づいている中、雲一つない秋晴れに恵まれた充実の1日でした。琵琶湖周辺は歴史の宝庫、限られた時間の中でスムーズな観光計画に苦労しましたが、「長浜観光ボランティア協会」の木村富久子リーダーの元、トラブルも無く無事故で終えることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

「麒麟が来る」では、「天下布武」の信長と対抗する武家集団、公家達の駆け引き。それを取り巻く信仰集団を巻き込み、それも平定したかに見えたら「どんでん返し」へ。妻「熙子」から見た光秀「心の葛藤」に寄り添いながら楽しみたいと思います。

